

令和8年度までの目標		国語		算数・数学	
		自校A B層の割合	60% (令和6年度49.2%)	自校A B層の割合	60% (令和6年度44.9%)
目標達成に向けた取組					
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障		学習習慣の確立	
学校全体の取組	●カリキュラムマネジメントに即した授業改善の推進 <ul style="list-style-type: none"> 生徒自らが学ぶ方法を考え（個別最適な学び）、他者と協力して学びを深めて（協同的な学び）、自ら発信する授業づくりに取り組む。 教科横断をテーマにした研究授業を実施していく。 ICT機器を日々の学習指導に取り入れていく。 	●数学「単元別検定・総合検定」 <ul style="list-style-type: none"> 江戸川区のプロジェクトチームが推進する検定を積極的に活用し、総合検定の合格者70%以上を目指します（令和6年度の合格率は47%）。 ●週末テストの実施 <ul style="list-style-type: none"> 週末に基礎・基本的な10問程度のテストを実施します。国数英社理の5教科で実施し、合格ラインを80点以上に設定します。 		●家庭学習プロジェクト(KGP)の実施 <ul style="list-style-type: none"> すべての生徒がKGPノートを準備し、家庭学習に取り組みます。学習教科等は生徒個々の主体性に任せ、自主的に学びに向かう態度を育成していきます。 	
特に支援が必要な児童・生徒への手立て		○遅れがちな生徒は放課後等を活用して同一の内容を繰り返し取り組ませ、学習への粘り強さや達成感をもたせます。 ○江戸川区「 放課後補習教室 」につながらるように積極的に勧め、継続的に補習に取り組めるよう支援します。		○KGPにより取り組んだ学習内容をL-Gate（学習e-ポータル）の「毎日の記録」に入力し、その入力状況を教員が点検します。生徒を励まし、成就感を味わわせます。 ○手立てとして、生徒が自主的に取り組む方策を教員が個別に指導し、家庭学習が滞らないように支援します。	
成果指標	◎管理職が週案簿及び授業観察から「生徒自身が学び、生徒自らが発信する授業づくり」の進展具合を確認する。 全教員の1/3 が総授業の内の1割程度の導入を目指す。研究授業については 100% を目指す。	◎全国学力・学習状況調査の活用 令和6年度 国語D層31.8% （R529%） 数学D層26.0% （R527%） 英語D層 （R525%） すべての教科において、D層を25%以下にする。		◎全国学力・学習状況調査の活用 令和6年度「 一日に1時間以上学習している生徒の割合 」が 79.6% に伸長した（令和5年度は75.6%）。 一日1時間以上学習する生徒の割合を85%以上にする。	